

リベリア
ニンバ山脈地帯森林保全プロジェクト
現地からのお便り

2018年8月
コンサベーション・インターナショナル

規約の採択

前期、Yolowee と Gbobayee の各村で規約の案が作成されました。規約案に対する村人たちの意見を集め、検討した結果、2つの村で規約が採択されました。規約は、保全契約の実施と管理、また村の中での便益の共有などを進める際の手引きとなります。

タブレットを使ったデータ収集の追加トレーニング

6月9日～10日、前期のトレーニングに追加して、フロントライン保護官がタブレットを使って信頼性と質の高いデータを収集できるようになれるよう、トレーニングを実施しました。24人のフロントライン保護官が参加しました。

実際の活動を通じた実地トレーニングにより、フロントライン保護官たちがどこでつまづくかを特定し、必要なスキルを教えていきました。トレーニングで扱ったのは以下の内容です。

- a. パトロールのルートの特定制とその記録
- b. タブレットを使ったデータ収集の方法と各ステップ
- c. 保全対象と保全対象外の動物の確認
- d. コミュニティ内と周辺森林において違反とみなされる行為の確認
- e. コミュニティ森林、東ニンバ保護区、それ以外の森林の違い



ニンバ・コミュニティ・カレッジからのインターン生がフロントライン保護官にタブレットでのデータ収集過程を説明している様子

フロントライン保護官

24 人のフロントライン保護官が合計で 274 回のパトロールを実施し、以下の違反が報告されました。

- a. 狩猟を空の葉莢、銃声、狩猟者の痕跡で確認
- b. コミュニティ森林と周辺森林での罠の設置
- c. 東ニンバ保護区付近での農業
- d. 周辺森林での破壊的漁業

これらの違反行為は、森林局に報告され、森林局によって調査され、然るべき処置が取られました。

家畜飼育と野菜生産

豚は増え、Gbobayee で 11 匹、Yolowee で 23 匹が飼育されていたところ、更に両村で 6 匹ずつ子豚が生まれました。残念ながら Gbobayee の 1 匹は死んでしまいました。現在、豚小屋に 4 部屋を追加する拡張工事が、両村で完了しました。



Gbobayee 村の生まれたばかりの子豚

昨期に引き続き、野菜生産に取り組んでいます。一部は豚の餌として使われる予定です。Gbobayee では、0.8 ヘクタール（2 エーカー）でのキャッサバとサツマイモの植え付けが完了し、パパイヤ苗も植えました。Yolowee では、合計約 1 ヘクタール（2.5 エーカー）にキャッサバとサツマイモを植えました。パパイヤの苗は苗畑で育てています。



Yolowee のキャッサバ畑

次期の活動予定

各村でのビジネスプランを作成、フロントライン保護官の四半期に一度のトレーニング、両村で 6 匹ずつ子豚が生まれました。残念ながら Gbobayee の 1 匹は死んでしまいましたが、現在、Gbobayee で 11 匹、Yolowee で 23 匹が飼育されています。豚小屋に 4 部屋を追加する拡張工事が、両村で完了しました。

(全ての写真は、© Conservation International/Photo by Alison Miah)